
地域の取り組み・課題集

～ きずなづくりトークのまとめ ～

中郷小学校区編

—改訂版—



平成 27 年 3 月

三島市

凡例（各意見に印をつけて、いつ出された意見かわかるようにしています）
 △：H23.06.01 テーマ「1 地域の防災力向上と被災時の対応」
 「2 高齢者から子どもまで多世代の交流による活性化」
 ▲：H23.10.04 テーマ「1 地域の防災力向上と絆づくり～前会の議論を受けて～」
 「2 ごみ問題と美しい地域づくり」
 ○：H24.06.06 テーマ「みんなでふれあい創出」
 ●：H24.10.12 テーマ「地域の防災力～みんなで何ができるか考えよう～」
 ◇：H25.07.09 テーマ「地域の実状に応じた防災訓練のあり方について」
 ◆：H25.11.19 テーマ「地域の実状に応じた防災訓練のあり方について」
 □：H26.07.15 テーマ「防災訓練」「地域の連携」
 ■：H26.11.14 過去の意見等を参考に関心の高いテーマに絞り、テーマ別のグループ会議を行いました。
 テーマ「①防災訓練で中学生が活躍できるプログラムを企画してみよう！」(P6 掲載)
 「②地域で活動している団体同士をつなぐ場について考えよう！」(P7 掲載)

◎：市の意見・回答
 ⇒：課題解決に向けた取り組み事例

(※担い手略称 自：自治(町)内会、民：民生委員、子：子ども会、市子連：三島市子ども会連合会、老：老人会)

	課題	担い手	
防災訓練	① 訓練内容 と避難経 路	<p>◆中郷小運動場が狭いため中郷西中で訓練を実施。中郷小(避難所)へ行く訓練や機会をつくらないと、混乱するのでは。</p> <p>◎防災訓練を中郷小集合後、中郷西中へ移動して実施してはどうか。</p> <p>◇現在の避難経路は車通りで危険。通学路に変更してほしい。(鶴喰)</p> <p>⇒◇運動会と防災訓練を同日開催。(梅名、安久)</p> <p>◇訓練を継続する中で評価や改善点がわかり、災害の対応力が身につく。定期的・特別な訓練に分けて訓練を行うといい。</p> <p>◆マンネリでも積み重ねになり災害の対応力が身につく。継続が大事。</p> <p>⇒◆女性消防団員の派遣が、女性や子どもにたいへん好評だった。(安久)</p> <p>◆市は女性消防団員を増やしてもっと活用してほしい。</p> <p>◇中学生の班を作り、他と同様に進行し三角巾等の訓練を実施したい。(梅名)</p>	<p>自</p> <p>自・市</p> <p>自</p> <p>市</p> <p>自・中</p>
	② 防災体制 の整備と意 識向上	<p>⇒●町内独自のスローガンを掲示し、きずなを意識させている。(梅名)</p> <p>◇自主防災OB会名簿を見直し、一度集合して防災意識の向上を図りたい。(梅名)</p> <p>●現在幼稚園敷地を訓練場所として使用させてもらっているが、一時的な集合場所がないことが課題。(八反畑)</p> <p>◎各家庭での水の備蓄が大事。</p> <p>◆女性の視点を活かし、できることを考えていきたい。(中郷女性学級)</p> <p>◇子どもの防災への関わりは非常に大切。道徳の時間などに子どもたちに防災について考えさせることも有効。</p> <p>⇒◇ジュニア防災士養成講座を実施。(梅名)</p> <p>◆子どもの取り組みを保護者も知る機会があれば、防災意識向上に効果的。</p>	<p>自</p> <p>校区全体</p> <p>小</p> <p>小・PTA</p>

	課題	担い手
③ 要 援 護 者 の 支 援	<p>●◆要援護者が何人もいる。災害時どうやって誰が救助するのか。要援護者リストに載っていない方も多数いるのではないかな。</p> <p>□要援護者の日ごろの状況・日中の行動も把握した上で、救助方法を考えていくといいのではないかな。</p> <p>◇□民生委員と協力し、誰が一番先にどこへ行くかまで考えるべき。</p> <p>□民生委員は町内役員、防災委員と会合を持ち、要援護者の係としてお互い把握が必要。役として通じ合っていないと、いざという時に大変。</p> <p>⇒◆自主防災会・民生委員と具体的な行動について協議中。(梅名)</p> <p>⇒◆地図上で要援護者の住居把握。訪問し現状も把握。笛も渡している。(八反畑)</p> <p>◎要援護者を誰がどのようにサポートするか決め、強制的に割り振りを行ってほしい。必要な物品(車椅子など)の購入も大事。</p> <p>◎自主防災の世帯台帳には防災上に役立つ資格・技能等の記入欄がある。それを整理した人材台帳などもなるべく整理してほしい。</p>	<p>自・民</p> <p>自・民</p>
④ 参 加 促 進 の ため の 工 夫	<p>⇒◇参加しやすい時間に設定変更。参加者が増加。(八反畑)</p> <p>⇒◆運動会と防災訓練の同時開催で参加者多数。</p> <p>⇒◆参加証を配布し地域の方からサインをもらう仕組み。(中郷西中)</p> <p>◆30～40代が訓練に参加する方法を考えたい。</p> <p>□若い世代はどこから入っていけばいいのか、わからないと感じている。子どもが多く参加すれば、親も一緒に参加するようになる。</p> <p>□「被災した場合どうなるのか」「自分や家族、地域の問題として自分に何ができるのか」考える機会を増やしたら、参加する動機付けになるのではないかな。</p> <p>□中学生が活躍できる防災訓練が実現すれば、「若い世代の参加」を促す基になる。中学生の頃にきっかけを作っておけば、若い世代の参加につながる。</p> <p>⇒◆学校から生徒へ参加を呼び掛けている。(中郷西中、中郷小)</p> <p>◆□中郷西中としては全地区同日開催を希望。部活を全部中止にできて全員参加が期待できる。</p>	<p>自</p> <p>自・中</p>
⑤ 地 域 と 学 校 の 協 力 体 制	<p>⇒◇中学校区の地域連絡会(7町内会)を立ち上げ情報交換実施。</p> <p>◇学校から課題・提案等を示されると、町内で考えるきっかけになる。課題をもらうことも大事。</p> <p>◇□中学生は戦力。防災訓練時の中学生の役割を考え、中学生が活躍できる訓練を実現させることが大切。</p> <p>→【■①テーマ別会議(P6)に発展】</p> <p>⇒◆今後の訓練の参考に、参加生徒の感想を町内に配布。(中郷西中)</p>	<p>自・中</p>

	課題	担い手	
地域の連携	① 顔の見える関係づくり	<p>●□組単位のきずなづくりが重要。大きな地域活動につながっていく。</p> <p>◇地域の各組の方が動いてくれれば次第に活動も広がる。</p> <p>⇒□毎月組の常会を継続し、組内の連携、親睦を深めている。(梅名5組)</p> <p>●町内行事にとにかく人を集めることが課題。</p> <p>●□自治会、PTAなどの団体相互の連携が重要。リーダーが集まって話をする機会がほしい。そこから何か生まれるのでは。</p> <p>→【■②テーマ別会議(P7)に発展】</p> <p>□地域の集まり(ゴルフ、魚釣り、将棋など)の情報を集め広報活動をするといひ。「こういう団体・仲間がいる」と繰り返し住民に伝えることができれば、参加の可能性が高まる。そこで会話をすることで、地域の人と関わりつながる。</p> <p>◇アパート住人を訪問しても連絡がつかず把握できていない。</p> <p>◇大東建築など一括借上げの所は名簿が出てこない。大変な問題。(安久)</p>	自 各団体
	② 地域と学校の連携	<p>○高学年には、地域行事で小さな役割を与えるといひ。</p> <p>●子ども達と地域の関わりを消さない努力が必要。(中郷西中)</p> <p>◇小学校と地域の人がどう関わっていくか模索中。顔見知りになる、接点を持つことが重要。(中郷小)</p> <p>◇チラシ等をまず子どもに見せ、興味を引かせ、子どもから親を誘わせることも有効な手段。</p> <p>⇒◇小学校に地域行事の案内配布を依頼し、参加者募集。(梅名)</p> <p>□地域の方が小・中学生に積極的に声をかけ、できれば褒めてあげたり、時には叱って頂きたい。そうやって、一緒に子どもたちを育ててほしい。</p>	校区全体 小 自・小 校区全体
	③ 子ども会存続	<p>⇒◇◆自治会・健全育成会が子ども会の役割を果たしている。(梅名)</p> <p>◇子ども会が消滅し、ボランティアで子どもクラブを立ち上げた。現在10人ほどのメンバーで活動しているが資金不足が課題。(安久)</p> <p>◇子ども会を立ち上げるいい方法があれば、定着するよう補助金や予算をつけてほしい</p> <p>◇小学生の保護者に話をし、子ども会への参加を促していきたい。</p> <p>□PTAは各地区の子ども会・子どもクラブとの関係が薄く、関係を模索している。</p> <p>◇例えば、小学校入学時に全員子ども会に入れてしまえば、子ども会の一員なので大会に参加できる。</p> <p>◆小中学生には市子連のジュニアリーダー育成に参加してほしい。</p>	自 子 市 PTA 市子連 小・中
	④ 子どもの見守り	<p>○子どもの命を守るために自転車マナーを教育してほしい。</p> <p>○交通安全と防犯は一緒。目を行き届かせることが大事。</p> <p>○子どもたちに自分の力で危険回避する力をつけてもらいたい。</p> <p>○地域の見守りの協力をお願いしたい。(中郷小PTA)</p>	校区全体

	課題	担い手
⑤ 高齢者の見守り	<p>○体を動かせる若い人を引き入れないと老人会活動が困難。</p> <p>○他地域の老人会とも交流を広げていきたい。(近隣で交流あり)</p> <p>⇒◆誕生日会を開始。欠席者にお祝いを渡しに行くことで、出てこない高齢者の状況を把握。(八鶴悠和会)</p> <p>○●孤独死が増えていく中、行政・包括・民生委員・大家などで協力して対応していく必要がある。「向こう3軒両隣」が大切。</p> <p>□世代間交流・地域内の交流を深めることが、「高齢者の見守り」につながる。</p>	<p>老</p> <p>校区全体</p> <p>校区全体</p>
⑥ スポーツを通じたきずなづくり	<p>◇トリム教室に人が集まらない。地域の各組の方が動いてくれれば活動も広がる。地域の協力をお願いしたい。(スポーツ推進員)</p> <p>⇒◇町内会長、民生委員、PTA、育成会の中で体制を作ってもらい、夏休み行事を実施。</p> <p>◇小学生の保護者に地道に話をして、少しずつ参加を促していきたい。</p>	<p>校区全体</p> <p>各団体</p>
⑦環境美化	<p>▲市の焼却炉の実態、埋める場所(処分場)が満杯などの情報を広報に詳しく載せてほしい。</p> <p>▲ごみの出し方について、中国語や韓国語での説明も必要。</p> <p>▲三島以外の方が、三島のごみ袋を買って、車で来て田んぼにポイポイごみを捨てていく。どうしたらいいのか。</p> <p>▲犬のフンが、田んぼのあぜ道等で非常に多い。保健所から看板をもらって立てているが効果がない。うまく宣伝してほしい。</p>	<p>市</p>

■H26. 11. 14 テーマ①「防災訓練で中学生が活躍できるプログラムを企画してみよう！」

(テーマ①班：参加人数 8人)

●「地域が中学生に期待すること」「中学生がやりたいこと」をすり合わせプログラム内容を考えること、地域で訓練日を統一すること等について話し合いました。

第1回トークのふりかえり

★防災訓練に中学生を参加させるには、地域の受け皿が大事

中学生が活躍できるプログラム例
ゲーム形式・伝言ゲーム・バケツリレー・担架の作り方・お年寄りの話し相手・幼稚園児のお世話の練習など

★現状

- ・(御園) 11/2 中学生も参加し合同訓練実施。担架づくり、消防、三角巾、縄の結び方、エンジンのかけ方など中学生は全部経験した
- ・(梅名) 運動会の前に防災訓練実施。三角巾などや消防署の方が AED を教えて中学生も体験

今の中学生はやる気も訓練への興味もある

■震災の体験談を聞く

- ・実際に被災者の体験談を聞かせて、中学生に考えさせる

■中学生に何をしたいのか聞く

- ・「自分たちは地域でどのようなことができるのか？何がしたいか？」提案してもらう
- ・「地域はこう考えているがどうなのか」と、中学生に投げかけていく

★中学生もいろいろ

学年/体力差/男女差/個人差

★経験することが大切

→参加のきっかけづくり

- ・段階的な経験が重要 (1年⇒3年ステップアップ)
- ・担当部署を決めておく (3年生は医療系など)

★おもしろい/実践的な訓練

- ・男子生徒は可搬式ポンプのエンジンを回すことが楽しい
- ・実際に興味のあること、面白さを感じることをやる

人の役に立つ喜びを実感

- ・防災訓練後のつながりがほしい
- ・訓練は積み重ね。数多くこなしていくことが大事

■地域がプログラムを用意して説明することが大事

- ・中学生が自ら考えることはなかなかない⇒大人が用意する
- ・プログラムの中に、学校で体験できないことを入れていく

■告知の工夫

- ・地域から具体的なプログラム(たたき台)を提示する

★地域が中学生に期待すること

- ・医療の支援活動(災害時にケガした人のケア、簡単な救護)
- ・実践的な活動(担架の使用、建物などの下敷きになった人の救出訓練)
- ・男女の役割の違いを意識
- ・備蓄係・配送支援(男子生徒)
- ・物資の配送などシンプルな作業
- ・後方支援(大人の補助)
- ・避難所・集合者の名簿作り

これらは次の訓練ですぐ実施できるのか？

- 学校と地域の相談が必要(地域は学校のスケジュールがわからない)
- ・地域がやらせたくても中学生はどうか
- ・中学生がやる気になることが大事

■地域一斉の防災訓練の検討

- ・中学生は、基本的に土日は部活
- ・中学生を出すには訓練日を統一(部活も一回の休みですむ)
- ・12月だと部活もなく、やりやすい⇒地域の自治会、自主防災会などが集まって相談(地域で日程を調整)

★もうできていること

地域の人材活用

- ・元看護師が参加し、指導
- ・地域の医者が持ち回りで面倒を見てくれる

消火器訓練

- ・男女中学生が消火器訓練を体験。わりと簡単で体力も必要ない。中学生から毎年やる機会がある

中学生は結局後方支援が主体⇒大人とペアで動く内容を

★保護者の後押しが大事

- ・今の中学生はすごく忙しい
- ・親が出ないと子どもは出ない
- ・親の防災に対する姿勢が子どもへすごく影響する

■自治会の受け入れ体制

- ・大人が訓練を熟知する体制が肝要

今回出た主な意見は以下の通り！

- ・中学生がしたいことを把握する
- ・中学生が参加できる日程調整
- ・中学生の役割を明確にする

地域の皆さんと連携し、企画を進めていこう！

■H26. 11. 14 テーマ②「地域で活動している団体同士をつなぐ場について考えよう！」

(テーマ②班：参加人数 5 人)

●地域のつながりの場に期待出来る事(メリット)ややりたい事、「どのようにつながるか？」等について皆さんの意見を出し合いました

■地域にどんな「つながり」の場がほしいか？

●人材を探す・活動の充実を図る場

- ・エコに興味のある人(活動する人)を募集しているが、なかなか集まらない。人材探しに苦労している。
- ・市が環境大学を開催。受講者が多いが、活動者は少ない。参加者を増やす為のアピールする場が欲しい。(エコリーダー)

●多団体との連携の場

- ・民生委員として、自治会との連携、自主防との連携、組長(担当地区)との連携
- ・自治会(町内会)、子ども会、学校の連携

●話し合える場

- ・地域全体で集まる機会が無い。
- ・個人活動のみ。地域と話し合いの場がほしい。
- ・共通の問題を持った団体が集まり、話す場。
- ・合同で話せれば、お互いの活動を把握できる。

●顔が見える場

- ・年齢に関係なく顔の見える関係づくり、地域づくりに向けて進める。
- ・民生委員としては、自治会役員等に顔や名前が知られていないと活動に支障が出る。
- ・お互いの顔と名前、活動状況を紹介しあう。

●協力しあう場

- ・悩みを相談して解決できる場(協力を得る)
- ・小学校PTAとして他の団体活動に、積極的に参加する方法を一緒に考えていきたい。
- ・PTA活動だけでもけっこう大変。各団体の予定を把握し効率良く動けるようにしたい

●きっかけづくりの場

- ・情報を発信してきっかけを与えたり、もらうことができる場。
- ・PTA とエコリーダー直接の交流が無い。PTAとしてもエコ活動について知りたい。

いろいろな場(機能)が期待できる。実現させる為には、まずは『**集まって顔を合わせる**』ことから！



■集まって具体的に

どんなことをやりたいか？



★各団体の課題解決に向けた話し合い！

- 困っていることを相談する。協力を求めたいことをお願いする。
- 自分達の団体に課題があれば、その課題に対し他の団体ができることを協力提案する話し合い。
- 集まった人たちで何をやるかを話し合う。

★地域活動の企画！



- 地域パトロールと夕方あいさつ運動(小PTA)
- 廃品回収とエコについて活動企画(小PTA)
- 廃品回収や運動会に、地域の団体を組み合わせていく。その方法は？
- お茶会サロン
- ふれあい活動(例：自治会館で誰もが集まれる遊べる場。親子やご老人、趣味の集い等)
- 世代間交流

■どうしたら皆が集まれるか？

★既存の会議から発展させられないか。

⇒議題に合わせて他の団体代表者を新たに加える。他団体にも意見を求めることで、話し合いが発展していくのではないかな？

★活動内容や代表者連絡先がわかる「地域の活動団体一覧表」を作ってもらえれば、つながるきっかけになる！

補足資料

きずなづくりトークの意見まとめ

これまでの「きずなづくりトーク」で皆さんから出していただいた地域の現況・課題を整理しました。

※平成 23～26 年度きずなづくりトーク参加団体一覧

自治（町内）会	各種団体	幼・小・中
安久町内会 鶴喰自治会 梅名自治会 八反畑町内会 中島町内会 中郷地区自治会連合会	環境美化推進員会 民生委員児童委員協議会 保護司会 中郷女性学級 エコリーダー 地域包括支援センター 地域づくりコーディネーター	はったばた幼稚園 はったばた幼稚園 P T A 中郷小学校 中郷小学校 P T A 中郷西中学校 中郷西中学校 P T A
老人クラブ	スポーツ関係	子ども会
安久安寿会 梅名親和会 八鶴悠和会	スポーツ推進委員会 中郷小学校区体育振興会 体育指導員会	三島市子ども会連合会

（平成 23 年度は「地域づくり市民会議」の名称で開催しています）

凡例（各意見に印をつけて、いつ出された意見かわかるようにしています）
 △：H23.06.01 テーマ「1 地域の防災力向上と被災時の対応」
 「2 高齢者から子どもまで多世代の交流による活性化」
 ▲：H23.10.04 テーマ「1 地域の防災力向上と絆づくり～前会の議論を受けて～」
 「2 ごみ問題と美しい地域づくり」
 ○：H24.06.06 テーマ「みんなでふれあい創出」
 ●：H24.10.12 テーマ「地域の防災力～みんなで何ができるか考えよう～」
 ◇：H25.07.09 テーマ「地域の実状に応じた防災訓練のあり方について」
 ◆：H25.11.19 テーマ「地域の実状に応じた防災訓練のあり方について」
 □：H26.07.15 テーマ「防災訓練」「地域の連携」
 ■：H26.11.14 過去の意見等を参考に関心の高いテーマに絞り、テーマ別のグループ会議を行いました。
 テーマ「①防災訓練で中学生が活躍できるプログラムを企画してみよう！」(P6 掲載)
 「②地域で活動している団体同士をつなぐ場について考えよう！」(P7 掲載)

◎：市の意見・回答

(※担い手略称 中郷女学:中郷女性学級、市子連:三島市子ども会連合会)

	現況	課題	担い手	結果・実績
1. 防災訓練				
	①訓練内容と避難経路			
	<ul style="list-style-type: none"> ●防災訓練と運動会を兼ねて実施。 極力、マンネリ化しないようプログラムの内容を変えている。(梅名) ◇本来、梅名の避難場所は中郷小だが運動場が狭いため、中郷西中で訓練実施。避難場所は中郷小だと周知徹底している。(梅名) ◇◆本来の避難場所(中郷小)への集合場所や避難経路をわかっていない。混乱が生じる。 ◇現在、避難経路は車通りで危ない。(鶴喰) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆町内で中郷小(避難所)へ行く訓練・機会がつかれないか。 ◎例えば防災訓練を中郷小集合後、中郷西中へ移動して実施するとよい。 ◇通学路を避難経路としていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会 自治会 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒◇運動会と防災訓練を同日開催。(梅名)
	<ul style="list-style-type: none"> ◇運動会の前に防災訓練を実施。昨年度から10時までを訓練とした。避難訓練、人数確認、分かれて救護・三角巾・担架作成訓練、消火班は消火器・可搬ポンプによる放水訓練(貯水タンクより実際に放水)実施。物資班が炊き出し訓練を行い昼休みに各組に分配。(安久) ◇訓練を続ける中で評価や改善点がわかる。 ◆今回初めて女性消防団員を派遣してもらった(主に三角巾や担架担当)。女性や子どもに好評だった。(安久) ●◇鶴喰と八反畑は合同で消火訓練実施。訓練は同じようなことをみんなでやる形が多い。(八反畑) ◇現状、粉消火器は使用不可、また防火水槽は地域に汚水が出るのでホースを使用した訓練はできない。(八反畑) ◇今年はAEDを加える予定。公民館にAEDを設置する構想もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇今年も同じ形式にして問題点、付け加えるものなどがあれば検討していく。 ◇定期的なもの、特別なものに分けた上で訓練を行うといい。 ◆市は女性消防団員を増やしてもっと活用してほしい。 ◆マンネリでも積み重ねになり、災害の対応力が身につく。継続が大事。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会 自治会 自治会市 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒◇運動会と防災訓練を同時実施。(安久) ⇒◆女性消防団員を派遣してもらい好評だった。
	<ul style="list-style-type: none"> ◇□参加証明をもらうためだけに参加する子ども多いが、中学生は色々な形で地域の戦力になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇数年前から中学生も参加。今年は中学生だけのブルーシートを作り、他と同様に進行し三角巾等の訓練を実施したい。(梅名) 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会 中学校 	

現況	課題	担い手	結果・実績
<ul style="list-style-type: none"> ●津波を想定し校舎 3 階へ避難。在校時に地震が起きた場合、保護者に迎えにきてもらう。(中郷小、中郷西中) ◇①避難経路の確認②火災③地震④予告なしの火災・地震訓練など、年4回防災訓練実施。(中郷小) ◆年 2 回、火災・地震訓練、引き渡し訓練、フェアキャスト使用訓練実施。小中学校は遠いため連携はない。(はったばた幼稚園) ●松本幼稚園も中郷西中に避難してくる可能性があるため、合同訓練を予定。(中郷西中) ●◇学校職員の誘導により怪我をしない、命を落とさないことを念頭に置いている。(中郷小) 			
②防災体制の整備と意識向上			
<ul style="list-style-type: none"> ●独自のスローガンを掲示し意識させたい。今年のスローガンは「地域の心のきずなづくり」。(梅名) ●訓練はまず組ごとに集まるのが大切。それがきずな作りにつながる。 ●地域防災会議等を実施。(中郷西中) ●現在、八反畑幼稚園の敷地を訓練集場所として使っているが、廃園となった後のことが心配。(八反畑) ●市から10年改正していない一次避難所の見直し要請があった。(鶴喰) ●水を確保できる場所を調査中。災害時、農家に米を分けてもらえるよう話し合っている。(八反畑) ●液状化が起こった場合、どうやって対応したらよいかわからない。 ◇防災倉庫 5 箇所を各組月一回点検し、可搬ポンプを稼働することになっているが徹底できていない。年一回町内会の防災担当が各地域の倉庫に行き、エンジン点検・修理を実施。(安久) ◆町内の意識は低い。各自、災害時の行動把握もできていないと感じる。 ◆女性として、男性とは別の視点からできることがあると思う。(中郷女性学級) 	<ul style="list-style-type: none"> ●一時的な集合場所がないことが課題。 ◎水の備蓄が大事。 ◎液状化の場合、地盤改良工事は高額で対策は難しい。 ◇自主防災 OB 会名簿を見直し、一度集合して防災意識の向上を図りたい。(梅名) ◆女性の視点からできることを考える。女性だけの防災会議などが考えられる。 ◎女性の役割が非常に大事。市では女性の意見を地域防災計画改定に活かす取り組み実施。 	<p>自治会</p> <p>自治会</p> <p>校区全体</p> <p>中郷女学</p> <p>市</p>	<p>⇒●町内独自のスローガン掲示。(梅名)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ◇5 月にジュニア防災士養成講座を実施。子どもが 10 人ほど参加し、梅名の防災倉庫の点検作業や、飯盒炊飯等を体験。とても楽しそうだった。(梅名自主防災会) ◆PTA 役員も交替するので、なかなか防災の取り組みまで至らない状況。(中郷小 PTA) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇子どもの防災への関わりは非常に大切。 ◇子どもたち自身に防災について考えさせることはできる。小学校で道徳などの時間を使うのも有効だと思う。 ◆子どもの防災への取り組みを保護者も知る機会があれば、防災意識向上に効果的。(中郷小) 	<p>小学校</p> <p>小・PTA</p>	<p>⇒◇ジュニア防災士養成講座を実施。</p>

現況	課題	担い手	結果・実績
③要援護者の支援			
<p>△●どの家の人を誰が支援するか、その方が不在の場合、第2・第3の支援者まで考えなくてはならない。町内には乳児・幼児・高齢者が多数いるので、対応しきれない。どうやって誰が救助するの</p> <p>△世帯名簿には、特技を持つ者、元医者や看護師、消防士などを登録するとよいのでは。</p> <p>●町内の老人の三分の二が、一人暮らしという現実がある。(八反畑)</p> <p>●学校外で震災が起こった場合、中学生に子ども・お年寄りを誘導するよう指導している。(中郷西中)</p> <p>◆要援護者の対策は協議していない。(安久)</p> <p>◆要援護者リストは昨年・今年の対象者を照合し、全70数名を地図上で把握。訪問し現状も把握。笛も渡している。(八反畑)</p>	<p>◎実際の災害時には、要援護者を正確に把握し、強制的に割り振りを行ってほしい。必要な物品(車椅子など)を購入しておくことも大事。</p> <p>◎自主防災の世帯台帳には防災上に役立つ資格・技能等の記入欄がある。それを整理した人材台帳なども整理してほしい。ただ避難場所が必要な人材を集めるしかない可能性もある。</p> <p>◆要援護者リストの中に載っていない方も多数いるのでは。</p> <p>◎要援護者リストを活用し各地区の実状を把握してほしい。</p> <p>◎災害時、要援護者を誰がどうやってサポートするか決めておくことが重要。</p>	<p>自治会</p>	<p>⇒◆地図上で住居把握。訪問し現状も把握。笛も渡している。</p>
<p>□日中、老人ホームに行っている人などは把握できていない。</p>	<p>□要援護者の日ごろの状況・行動を把握した上で、救助方法を考えていくといいのではないか。</p>		
<p>◆高齢者支援に対しては、昨年の要援護者リストを参考に、自主防災会・民生委員と具体的な行動について協議中。(梅名)</p> <p>□民生委員の会合の時に「各町内で紹介もされない。でも民生委員として調査をしなくてはならない」という話を聞く。</p> <p>□町内で必要な人達のネットワークができていない。</p> <p>□要援護者の振り分けを前任の会長がやってくれた。組長は毎年代わるので、民生委員がメインとなって5~6人かそれ以上を担当することになる。</p>	<p>◇本来は民生委員と協力し、誰が一番先にどこへ行くかまで考えるべき。</p> <p>□民生委員は、町内役員、防災委員と会合を持ち、要援護者の係として、お互い把握しておくとうい。役としてお互いが通じ合っていないと、いざという時に大変。</p> <p>□必要な人達が集まるきっかけがあれば、顔や名前、関係がわかる。</p> <p>□打合せなどを出来るだけ早く持ちたいと思う。</p>	<p>自治会 民生委員</p>	<p>⇒◆自主防災会・民生委員と具体的な行動について協議中。</p>
④参加促進のための工夫			
<p>◇本部を含めてテント約40張、約1,000名の参加。町民の熱心な協力がある。保護者が家族と防災訓練に参加、なおかつ小学生も訓練、運動会に参加。いい関係が築けている。(梅名)</p> <p>◇◆以前は19時までやったが、午前11時頃から始まり17時には片付け終わるよう、ここ数年は進めている。参加しやすい。小学生は親と一緒に参加が多い。最低一軒一名訓練に参加するように促している。(八反畑)</p> <p>●全員参加の呼びかけを行い、区民の3分の1弱が参加した。(鶴喰)</p>		<p>自治会</p>	<p>⇒◇住民が参加しやすい時間に設定変更。</p>
<p>◇小中高校生の参加もあった。中学生の参加は、運動会を含めてこのところ増加傾向。</p> <p>●高校生は部活より防災訓練を優先するようにと先生から指示。</p>			

現況	課題	担い手	結果・実績
<p>◆参加証を配布し、地域の方にサインをもらう取り組み実施。(中郷西中)</p> <p>◆訓練に保護者が参加すれば、小学生の参加も増加。</p> <p>◆運動会+防災訓練は参加者多数でも、防災訓練のみだと小学生の参加は少ない。小学生は運動会が楽しければ防災訓練にも参加する。</p>		<p>中学校</p> <p>自治会</p>	<p>⇒◆参加証を配布。</p> <p>⇒◆運動会+防災訓練で参加者多数。</p>
<p>◆□小学生や高齢者の参加は多いが、本当に参加してほしい30~40代少ない。</p> <p>□若い世代はどこから入っていけばいいのか、わからないと感じている。参加する糸口、きっかけがつかみにくく、遠慮してしまう。</p> <p>□若い人たちは、「防災訓練は自分たちに関係がない」という意識が強いのではないかと感じた。</p>	<p>◆30~40代が訓練に参加する方法を考えたい。</p> <p>□一度入っていけば、糸口が見えてくるかと思う。</p> <p>□小学生の子を持っている親が多いので、小学生を参加させる。そうすれば一緒に参加する。</p> <p>□被災地の方々が苦しんでいる状況を若い人たちに見せる等して、「被災した場合どうなるのか」「自分や家族、地域の問題として自分に何ができるのか」と考える機会を増やしたら、訓練に参加する動機付けになるのではないか。</p> <p>□「被災時に何ができるのか」といった意識付けがあれば、「参加しないとまずいな」という意識になり、若い世代も参加すると思う。</p> <p>□中学生が活躍できる防災訓練が実現すれば、「若い世代の参加」を促す基になると思う。中学生の頃にきっかけを作っておくことは、若い世代の参加につながる。</p>	<p>自治会</p>	
<p>◆中学生は部活のため訓練に参加しにくい状況がある。</p> <p>◇◆地区防災会議で各地区訓練日程を事前把握し、子ども達には参加を呼びかけている。(中郷西中、中郷小)</p> <p>□中郷西中の生徒の70%が参加している。PTA活動や祭に中学生がどんどん参加している。PTAと地元の力があるから、同じリズムで防災にも出てくれる。</p> <p>◎9月1日「防災の日」に訓練を行うと、部活があり、中学生は参加しにくい。長伏は12月最初の日曜日「地域防災の日」に訓練をやっている。比較的中学生が参加しやすい。</p>	<p>◆全地区同日開催を希望。(中郷西中)</p> <p>□実施日を1日か2日にしてくれれば、部活も全部中止にできて全員参加できるので、90%はいくと思う。</p> <p>□訓練の日にちを設定してもらって、みんなで参加できる方向でやる方がいいのかなと思う。</p>	<p>中学校</p> <p>小学校</p>	<p>⇒◆学校から生徒へ参加を呼び掛け。</p>
⑤地域と学校の協力体制			
<p>◇昨年度から中学校区の7町内会で地域連絡会を立ちあげた。各会長と防災だけでなく、生徒や学校の様子などの情報交換も実施。</p> <p>◇中学生を学校からどうやって町内へ引き渡すか、小中郷西中の安久支部長、民生委員、子どもクラブの方に集まってもらい、防災だけではなく犯罪も含めて話し合いをした。</p>	<p>◇中学生が防災訓練でどんな動きをするのか、町内で考えてくることが次回までの宿題。</p> <p>◇学校から課題・提案等を言われると町内で考える。学校から課題が出されたから話が出来た。課題をもらうことも大事。</p>	<p>自治会</p> <p>中学校</p>	<p>⇒◇中学校区の地域連絡会で情報交換実施。</p>
<p>◆今年、参加生徒の感想をピックアップして地域に配布し、訓練の参考にもらった。(中郷西中)</p> <p>□他地区の事例では、中学生を集めたはいいけど、並べる人がいなくて困ってしまった、何をさせていいかわからなくて、ごちゃごちゃし</p>	<p>◇中学生は具体的に何をするのか、その後どんな働きをするのかまで考えていくことが大切。</p> <p>□中学生が活躍できる訓練のアイデアとして、まず中学生をまとめるには、体育振興会の方々が並ばせ、消防</p>		<p>⇒◆参加生徒の感想を町内に配布。(中郷西中)</p>

	現況	課題	担い手	結果・実績
	<p>てしまった、やらなきゃよかったという失敗例がある。</p> <p>□今の子ども達の感覚はわからないことがいっぱいある。学校の先生でないといけない。</p>	<p>団が号令をかけるといい。他地区で行っている「走らせて伝言ゲーム、バケツリレー、幼稚園児のお世話の練習、お年寄りの話し相手」等のプログラムが参考になる。中学生しかできない、中学生らしいことをやらせると盛り上がると思う。</p> <p>□上記のアイデアを実際に地域でやろうとすると、相当の努力が必要。中学校全体で力強くやっていけば、実現は可能だと思う。本当にやるからには、地域も校長先生からバイタリティをもらう必要があるし、子ども達が受け入れてくれるかどうかもある。</p>		
<p>2. 地域の連携</p>				
<p>①顔の見える関係づくり</p>				
	<p>○町内会の活動は組によって違い、やる場所はやっているが、やらない組は何もせず年一回集まるだけ。(安久)</p> <p>□梅名の5組は11軒の組だが、毎月「常会」を設けて、組内の連携、親睦を深めたり、情報を共有したりしている。</p>	<p>●組単位のきずなづくりが重要。</p> <p>◇地域の各組の方が動いてくれれば次第に活動も広がる。</p> <p>□小さなグループをしておくことが大事。小グループのまとまり、中くらいのグループ、それが大きくなって三島市全体になる。</p>		<p>⇒□毎月、組の「常会」を実施。</p>
	<p>●町内会議で、きずなに関する新聞記事を必ず1つ紹介している。</p> <p>●通学合宿、夢の風船だよりの実施。</p> <p>●高齢者・身体障害者の方が、町内の行事に出てこない。</p> <p>●高齢者と子どもたちの交流が積極的に行われている。(八反畑)</p> <p>◇小学生の参加する自治会行事として夏秋2回のお祭りがある。年代を通したふれあいの良い場。(梅名)</p> <p>□八田畑、鶴喰の場合は、両方の町内会長、子ども会会長、民生委員がいるが、交流がない。まずそこから接触することが出発点だと思う。</p>	<p>●町内行事とにかく人を集めることが課題。</p> <p>●自治会、PTAなどの団体相互の連携が重要。</p> <p>□町内会と子ども会と老人クラブなどのリーダーが、ちよくちよく集まって話をする機会がほしい。そこから何か生まれるのではないかな。</p> <p>□地域にある一定の集まり(ゴルフ、魚釣り、将棋など)の情報を集めて、地域内で広報活動をするといい。「こういう団体や仲間がいる」と繰り返し住民に伝えることができれば、参加の可能性がぐんと高まる。そこで会話をすることで、地域の人と関わりつながりになるのではないかな。</p>	<p>自治会</p> <p>各団体</p> <p>自治会</p>	
	<p>●若者が地域に残らない。</p> <p>●◇町内会にはほとんど加入。町内会の名簿作成に町内全員が了解し、去年、名簿を各家庭ほぼ出してもらっている。(鶴喰)</p> <p>◇270世帯ある中、268軒703名把握。とにかく名前だけは書いてもらった。その中で一人住まいなどと照らし合わせている。(八反畑)</p> <p>◇町内会に未加入者は10%位。会社でアパートを借り上げ従業員が住んでいる。(梅名)</p>	<p>◇アパートを訪問しても連絡がつかず把握できていない。</p> <p>◇大東建築など一括借り上げのところは、一括で入ってはいるのだが名簿が出てこない。大変な問題。(安久)</p>		

現況	課題	担い手	結果・実績
②地域と学校の連携			
<p>○子どもに学校内でも自治活動をやらせている。(中郷小)</p> <p>●◇小学校と地域の人がどう関わっていくか模索中。地域とのふれあいの場としては交通安全座談会がある。(中郷小)</p> <p>●子ども達を地域行事に参加させ、積極的に地域とのつながりをつくるようにしている。(中郷西中)</p> <p>◇地域行事へ小学生の参加を募るには、小学校の協力が不可欠な状況。放課後、梅名の子どもたちに直接案内を配布してもらおう小学校へ依頼している。(梅名)</p> <p>◇小学生の場合、子どもから親を誘うことが親を動かす。回覧などでは親の都合で情報を遮断する場合がある。</p>	<p>○高学年については、行事で小さな役割を与えるといい。</p> <p>◇顔見知りになる、接点を持つことが重要。</p> <p>●子ども達と地域の関わりを消さない努力が必要。</p> <p>◇チラシ等をまず子どもに見せ、興味を引かせ、子どもから親を誘わせることも有効な手段。</p>	<p>小学校</p> <p>校区全体</p> <p>小学校</p>	<p>⇒◇小学校に地域行事の案内配布を依頼し、参加者募集。</p>
<p>□子どもから地域の人達に何かできるかという、やはりあいさつ。学校では「自分から先にあいさつしよう」と、積極的に呼びかけている。</p> <p>□月に一回、小学校便りを出して、地域でも配布して頂いている。</p> <p>◎学校支援地域本部作りを進めている。教育は学校と家庭と地域が連携して行う。</p>	<p>□小学生を通して地域と小学校の結びつきを深めていきたい。</p> <p>□地域の方が小学生や中学生に、積極的に声をかけ、できれば褒めてあげたり、時には叱って頂きたい。そうやって、一緒に子どもたちを育ててほしい。</p> <p>◎学区には色々な能力を持った方がいるので、学校をサポートしていくよう呼びかけてほしい。</p>	<p>校区全体</p>	
③子ども会存続			
<p>◇◆子ども会はある。以前に比べれば人数は少ないが活発に活動している。小学生は 30 名、中学生は 20 名程度。小学生はほぼ全員行事参加。(八反畑)</p> <p>◇◆子ども会が 10 年程前からない。自治会・健全育成会が子ども会の役割を果たしている。推進委員長、自治会役員で構成している。(梅名)</p> <p>◇◆□安久は子ども会が消滅(平成 21 年)したが、ボランティアで子どもクラブを立ち上げた。会費と役員が嫌で、5 年生になるとやめてしまうため、「会費なし」「役員なし」ということになって、町内会にお願いして全ての人が「子どもクラブ」ということで、立ち上げた。(安久)</p> <p>◇会をなくすのは簡単だが、立ち上げるのは大変。</p> <p>◇◆三島全体で子ども会が少なくなってきた。(三島市子ども会連合会)</p> <p>◇子ども会は高学年が下級生の面倒を見るなど上下関係を学ぶことができ、町内の方、年配の方たちにもかわいがられた。子どもは楽しみ、親も勉強できた。</p> <p>□PTA としては、各地区の子ども会、子どもクラブとの関係が薄く、関係を模索しているところ。</p>	<p>◇現在 10 人ほどのメンバーで活動しているが資金不足が課題。</p> <p>◎子ども会が活発なところは、廃品回収で活動費を稼いでいる。</p> <p>◇子ども会を立ち上げるいい方法があれば、定着するよう補助金や予算をつけてほしい。</p> <p>◇小学校に入ったら子ども会、保険等に全員を入れてしまう。そうすれば親が役員でなくても子ども会の一員なのでドッジボール大会には出られる。そんな形でもできることを伝えたい。</p> <p>◇親も大変なことはわかるが復活してくれるといい。</p> <p>◇小学生の保護者に地道に話をして、少しずつ子ども会への参加を促していきたい。</p> <p>◎北小は PTA 育成部部長が子ども会地区長を兼ねているので、ドッジボール大会は PTA と子ども会共催で開催している。ぜひ PTA と子どもクラブの連携を進めてほしい。</p> <p>◆小中学生に市子連のジュニアリーダー育成に参加してほしい。</p>	<p>自治会</p> <p>子ども会</p> <p>市</p> <p>市子連</p> <p>子ども会</p> <p>小 PTA</p> <p>小学生 中学生</p>	<p>⇒◇◆自治会・健全育成会が子ども会の役割を果たす。</p>

現況	課題	担い手	結果・実績
④子どもの見守り			
<p>○小学校から御園へ抜ける道で、自転車に乗った子どもが飛び出してきて危なかった。(民生委員)</p> <p>○市から毎日見守りをお願いする放送があるが、決まった人しか出てくれない。より多くの人が出てくればすべての生徒の見守りができる。(交通安全推進委員)</p> <p>○気になっているのは地域の防犯。京都の事故があったので、通学路の確保がどうなっているのかが心配。(中郷小 PTA)</p> <p>○梅名を見習って、安久でも防犯パトロール活動を始めた。活動は強制ではなく、個人の自主活動。それぞれが散歩しながら、通学路の危険箇所をチェックしている。(安久)</p>	<p>○子どもの命を守るために、自転車マナーを教育してほしい。</p> <p>○交通安全と防犯は一緒。目を行き届かせることが大事。</p> <p>○すべての危険箇所に立つてもらうことは困難なので、大人の見守りだけに頼らず、子どもたちに自分の力で危険回避する力をつけてもらいたい。</p> <p>○学校でも指導を行っていくが、地域の見守りでも協力をお願いしたい。(中郷小 PTA)</p>	校区全体	
⑤高齢者の見守り			
<p>○どこの老人会にも 60 代の人はいなく、平均年齢 80 代くらいだと思う。60 代の若い人を勧誘している。(梅名親和会)</p> <p>○隣の青木老人会とはカラオケ、輪投げなどをして交流している。(八鶴悠和会)</p> <p>●◆最近、親睦会や輪投げの参加者が増えてきたが、イベントに全く参加しない人もいる。会員 58 名。3 カ月ごとに例会がある。出席者 30～40 人と出てくる人は、ほぼ決まっている。(八鶴悠和会)</p> <p>◆今年から誕生日会を実施。欠席者にはお祝いを渡しに行き、出てこない高齢者の状況を把握している(八鶴悠和会)</p> <p>□中郷地区の老人クラブは 14 クラブあるが、会員が昨年 1,025 人→今年 994 人と、減っている。何とかしたいと思い、色々活動して誘っている。今回、1 年で 6～7 人入ってくれたので、非常に期待している。</p>	<p>○会員を増やし、体を動かせる若い人を引き入れないと活動が困難。</p> <p>○もっと他地域の老人会とも交流を広げていきたい。</p> <p>●「向こう 3 軒両隣のきずなづくり」が大切。</p> <p>□「近所づきあいを深めていく」という目的を忘れずに、行事をしていくことが大事。</p> <p>□老人クラブは 60 代(高齢者の中の若い世代)が増えることが必要。入ってきた若い人たちに具体的にどう動いてもらうか考えたい。</p> <p>□老人会の方が小学生と体育館交流をしたり、登下校の見守りの方が学校で教育や指導をするなど、世代間交流ができるといいのではないかと。「地域内の交流を深める」ことが、「高齢者の見守り」につながる。</p>	<p>老人会</p> <p>校区全体</p> <p>老人会</p>	⇒◆誕生日会を開始。会員同士で状況把握。
<p>○一人暮らしの方が亡くなった。肺癌だが保証人を立てられず病院に行けなかった。包括の人と行政で話し合っていたので、死後の発見がはやかった。(民生委員)</p>	<p>○こういう事例が増えていく中、行政・包括・民生委員・大家などで協力して対応していくべき。</p>	校区全体	
⑥スポーツを通じたきずなづくり			
<p>◇普段は校区祭、ドッジボール大会など実施。集団行動が防災、きずなづくりにつながる。(体育振興会)</p> <p>◇スポーツ推進員が行う地区のトリム教室も人数が集まらず苦勞している。</p> <p>◇夏休みに行事を企画。土日は少年団の活動等があり平日に実施するが、大人が参加しにくい。今回、町内会長、民生委員、PTA 含めて育成会の中で体制を作った。</p> <p>◇体育振興会主催の行事では、振興会から参加要望がきて、会合の情報を組長に流し、参加を募り、体育部が取りまとめの窓口になる。当日は振興会と体育部が連携を図る。</p>	<p>◇地域の各組の方が動いてくれば活動も広がる。地域の協力をお願いしたい。</p> <p>◇小学生の保護者に地道に話をし、少しずつ参加を促していきたい。</p>	<p>校区全体</p> <p>各団体</p>	⇒◇多団体と連携、体制を作り夏休み行事を実施。

現況	課題	担い手	結果・実績
<p>◇中郷体育祭は、こどもクラブは関係なくスポーツは体育部ということで実施したところ、子どもたちが多数参加してくれた。</p>			
<p>⑦環境美化</p>			
<p>▲市の焼却炉の実態、埋める場所(処分場)が満杯などの情報が、一般家庭に伝わっていないのでは。各家庭に伝われば、変化があるのではないかと。</p> <p>▲田んぼにごみを捨てる人が多い。ジョイランド近くは特に多い。三島以外の方が、三島のごみ袋を買って、車で来てポイポイ捨てていく。</p> <p>▲梅名では10～11月に町内一斉清掃で放置自転車をチェックしながらごみを拾う。</p>	<p>▲広報に詳しく載せるのと同時に、高齢者などにもわかるよう見やすく工夫してほしい。</p> <p>▲ごみの出し方について、中国語や韓国語での説明も必要。</p> <p>▲三島以外からのゴミの持ち込みをどうしたらいいのか。</p> <p>▲犬のフンが田んぼのあぜ道等で非常に多い。保健所から看板をもらって立てているが効果がない。うまく宣伝してほしい。</p>		